

## 成果報告書

山崎 捷子

1. 主 題：平成 27 年度「男女共同参画推進フォーラム」業報告
2. 主 催：独立行政法人国立女性教育会館
3. 会 場：独立行政法人国立女性教育会館
4. 日 時：平成 27 年 8 月 20・21・22 日
5. 参加者・参加人数：800 名

6. 内容：

8 月 20 日（木）13：30～14：40

特別講演「超成熟社会のカギは“女性“」

講師 林文子氏 / 横浜市長

女性の視点で保育所待機児童ゼロを目指すなど女性が活躍できる  
土壌づくりを積極的に実践している現場の話を中心に講演。

15：30～17：30 ワークショップ

8 月 21 日（金）

10：00～12：00 ワークショップ

参加者は 80 名、福島県として震災後 5 回目の報告「海外の高校生に原爆事  
故の福島を案内」ということで、昨年の福島市、と今年の会津での  
交流を発表した。山崎はコーディネーターとして参加。各地から原発  
後の福島に注目している様子がわかった。会場には男性参加者も来  
ており、現場がどうなっているか、避難している方々はなどの質問  
があった。

13：00～15：00「北京世界女性会議 - あの時、今、そしてこれから -

コーディネーター 有馬真喜子

パネリスト 林陽子・坂東眞理子・船橋邦子・谷口真由美

アジアではじめて行われた国際女性会議で 10 の行動綱領が示され、それ  
がどこまで進んだか、これからの人たちにどうつないでいくかを話  
し合った。


18：00～18：30 交流会は全国からの参加者との交流。北海道からは九州  
まで団体で毎年参加者もおおり、各団体の紹介や PR などもあり、楽  
しく交流できた。

19：00～20：00 国立女性教育会館各地の代表者による会議があり、福島  
県代表として出席した。

平成 27 年度「男女共同参画推進フォーラム」への参加事業報告

収支決算書

収入の部

| 項目      | 決算額     | 備考   |
|---------|---------|--|
| 自己負担金   | 11,960. | 会津若松～大宮<br>大宮～武蔵嵐山  700 |
| 会津若松補助金 | 5,000.  |  |
| 合計      | 16,960  |  |

支出の部

| 項目   | 決算額     | 備考                   |
|------|---------|----------------------|
| 乗車料金 | 10,340. | 料 5170 × 往復 = 10340. |
| 特別料金 | 6,620.  | 料 3,310 × 往復 = 6620. |
|      | 16,960. |                      |